



## 部門長挨拶



## 第96期部門長 村上 弘記 (IHI)

第96期ロボティクス・メカトロニクス部門長を務めさせていただくことになりました。重責ではありますが、企画委員会、運営委員会の皆様のご協力を仰ぎながら、部門の更なる発展、ならびにロボティクス・メカトロニクス技術による様々な社会問題の解決に向けて貢献していく所存ですので、よろしくお願ひいたします。

このところ、通信情報技術の発展により、すべてのものがつながって新たな価値を生み出そうというIoTが話題になり、集めた情報処理に関しては著しい発展を遂げているAIが注目されています。日本からもConnected Industriesという概念で人と機械が協調して新しいデジタル社会の実現に向けて、新たな政策に取り組みられています。しかしながら、実際の物理的な作業の実現には、機械工学、特にロボティクス・メカトロニクス技術は欠かせないものです。すでにロボット革命イニシアチブでも取り組まれているロボット利活用の実証では、製造業のみならず物流現場など様々な産業でのロボット活用への試運用が数多く始まり、労働力不足の解決に向けての実証に取り組まれています。このように、社会問題の解決に向けた新しい世界を創造し、仮説検証的な活動に取り組んできた当部門の役割は重要となってきたと思います。製造・産業分野から医療・福祉分野など様々な分野で、人と機械がそれぞれの得意な作業で協調することで、豊かな社会を実現することを目指していくことが当部門の大きな目標です。

当部門では、英文誌として「ROBOMECH Journal」を発刊しております。Springer社からオープンアクセス可能な英文電子ジャーナルとして提供しているので、国際的に情報発信する場として活用いただきたく考えております。

昨年は、当部門の講演会であるROBOMECH2017を「再生と飛躍を導くロボティクス・メカトロニクス」というテーマで、福島県郡山で開催し、1,274件の発表と1,900名を超える参加をいただきました。福島県の復興としてロボット産業の育成の一助になったのではないかと思います。

本年は、ROBOMECH2018を北九州市で「地方から創生するロボティクス・メカトロニクス」というテーマで開催します。北九州市は、高度経済成長で先端を走ってきたことから、産業発展の裏側にある公害対策、高齢化対策など様々な社会問題の解決にいち早く取り組んできた自治体です。今回の講演会では、このような地方の取り組みに学ぶことも多いのではないかと考えております。また、今年には本講演会の30周年にあたり、ロボティクス・メカトロニクスのこれまでとこれからについての講演を中心とした記念行事も計画しておりますので多数の参加をお待ちしております。社会問題の解決には、複数の技術の融合が必要であり、融合を促進する場として、ROBOMECH2018を活用いただければ幸いです。

## 第27回インテリジェント・システム・シンポジウム開催報告

## 実行委員長 渡辺桂吾 (岡山大)

2017年11月7日(火)、8日(水)の2日間にわたり、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門の主催の下、第27回インテリジェント・システム・シンポジウム (FAN2017) が岡山市の岡山大学で開催された。

このシンポジウムは本学会(ロボメカ部門)、計測自動制御学会(システム・情報部門)、電気学会(電子・情報・システ

ム部門)、日本知能情報システムファジィ学会の4学会で、ほぼ年毎順繰りに主催担当をまわして日本各地で開催され、中四国では3回目の開催となった。今年の講演件数は、47件(内OSが4テーマ39件)であり、(有料)参加者数は72名(全員当日登録)であった。

初日の午前の特別講演会では、則次俊郎教授(津山高専校長)の「空気圧ゴム人工筋を用いたパワーアシストウェアの開発」と題した講演がなされ、同氏のこれまでの研究歴を反映した内容であり活発な質疑応答が行われた。2日目の特別講演会では地元企業であるタグチ工業の社長、田口裕一氏による「タグチ工業の現在・過去・未来」の話があり、午後からは、発表講演に対し事前審査で決定された論文賞5件および発表当日に審査を行い決定されたプレゼンテーション賞7件(内ベストプレゼンテーション賞としての和田賞2件を含む)について贈賞を行い、大会の全日程を終えた。

なお、今回は2018年9月26日(水)、27日(木)に横浜国立大学理工学部にて開催される予定であるが、関連研究者らの更なる支援と積極的な参加を期待したい。

## ロボティクス・メカトロニクス講演会2018 in Kitakyushu (ROBOMECH2018 in Kitakyushu) 開催案内

開催日 2018年6月2日(土)~5日(火)

会場 北九州国際コンベンションゾーン(福岡県北九州市小倉北区浅野地区)

HP <http://robomech.org/2018/>

## 実行委員長 柴田智広 (九大)

当部門主催、ロボティクス・メカトロニクス講演会2018 in Kitakyushuは、2018年6月2日(土)~5日(火)に北九州国際コンベンションゾーンにて開催します。開催場所はJR小倉駅直結、徒歩5分の距離にあり、新幹線、空路(福岡空港、北九州空港)でも大変便利です。6月2日にはXPRIZEに関する講演や中高生向け企画などを、また6月3日はワークショップ・チュートリアル、産学や地域連携の企画の他、ロボティクス・メカトロニクス講演会の30周年記念特別行事の開催を予定しています。そして6月4日と5日には、ポスター講演と企業展示を西日本総合展示場新館(約5,300平米)で行う予定です。

開催地の北九州市は、政令指定都市で、いち早く公害を経験し、高度な環境・エネルギー関連技術を発達させました。また、いち早く高齢化を経験し(高齢化率は政令指定都市の中で最も高い)、ロボット産業が主要産業の一つであることから、早くから医療や介護用のロボットの開発や実証に力をいれてきました。2016年1月に国家戦略特区に指定され、介護ロボット等を活用した先進的介護の実証を推進しています。北九州市は「住みたい地方ランキング」で1位に選ばれており、今年新たに、講演会会場の横にサッカーやラグビー向けのスタジアムもオープンしてますます活気づいています。また、小倉駅から小倉城には徒歩で行くことも可能です(約15分)。講演会の30周年を盛大に祝う意味でも、ぜひ多数の皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。

## 第96期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 村上弘記 ((株)IHI)

副部門長 倉爪亮 (九州大) 幹事 鈴木智 (信州大)

編集: 第95期ロボメカ部門 広報委員会

委員長 小川原光一 (和歌山大) 副委員長 辻田哲平 (防衛大)

委員 山口大介 (埼玉大) 幹事 程島竜一 (埼玉大)

部門HP: <http://www.jsme.or.jp/rmd/>広報委員会E-mail: [rmd@jsme.or.jp](mailto:rmd@jsme.or.jp)